

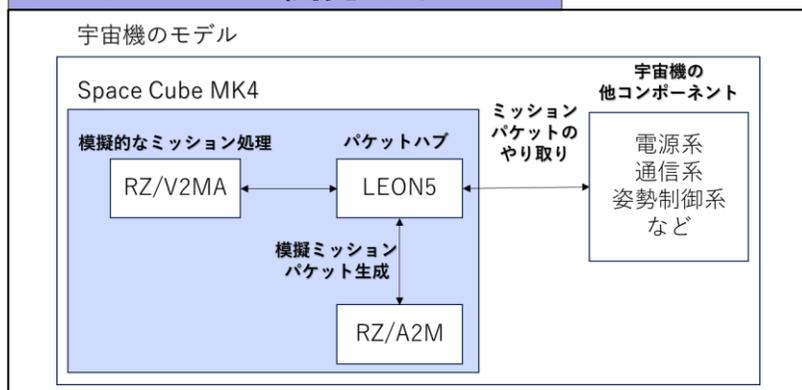
# Space Cube MK4

SHIMAFUJI

本製品は宇宙機のモデルベース開発/試験支援ボードです。本製品はロケット搭載機器や衛星内の通信に採用されている通信規格“SpaceWire”インタフェースを備えています。メインCPUには航空宇宙向けのRTOS “T-Kernel 2.0 AeroSpace”を採用しています。

本製品は3つの処理要素“LEON5”、“RZ/V2MA”、“RZ/A2M”を搭載しており、宇宙機のコンポーネントを模擬的に実現することが可能です。LEON5が宇宙機とのミッションパケットハブとなり、RZ/V2MAが模擬的にミッション処理を行います。ミッション処理にはDRP-AIによる高性能AIも使用可能です。RZ/A2M搭載のDRPで、模擬ミッションパケットを作成することも可能です。

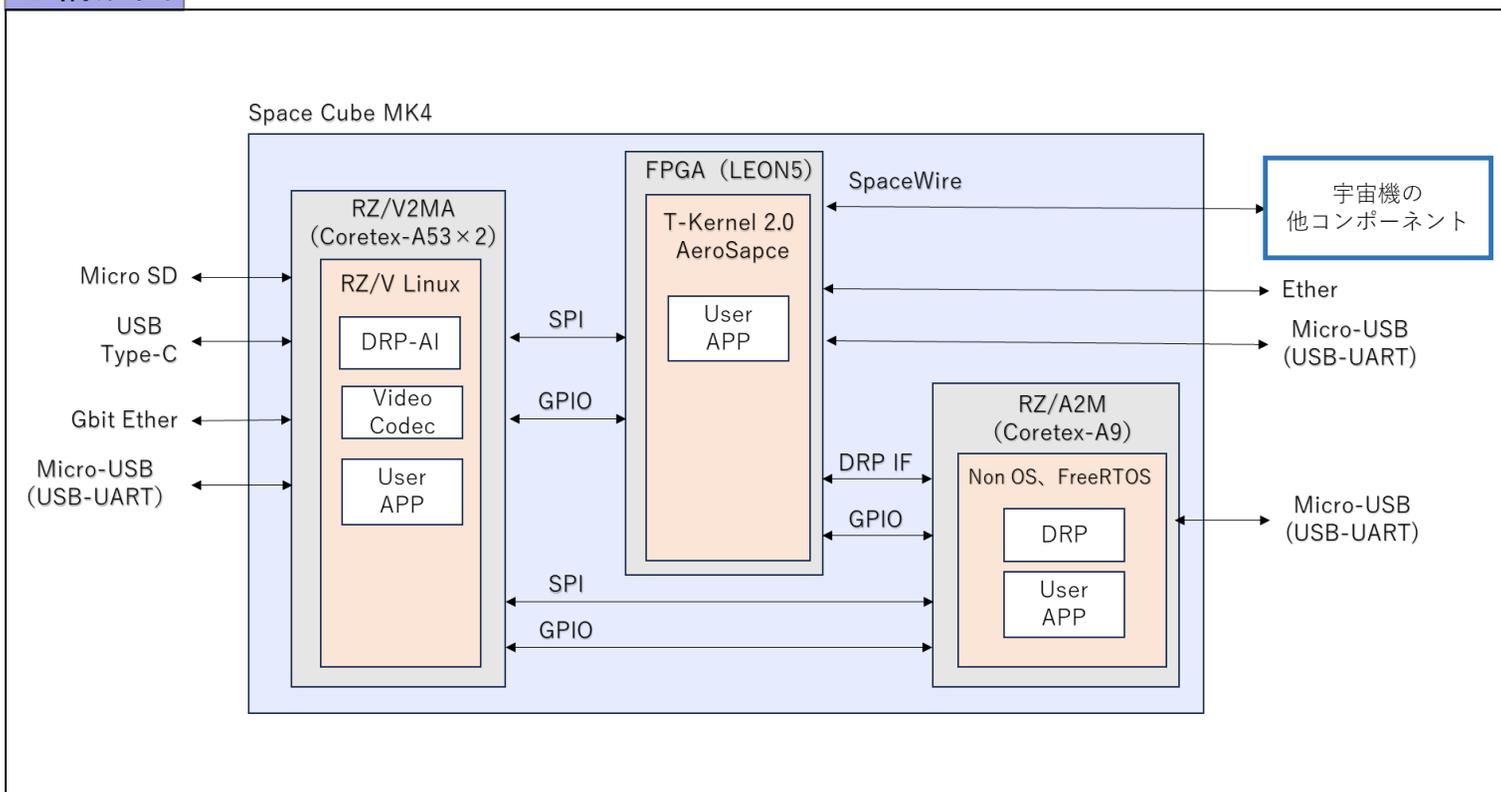
## ◆モデルベース開発のイメージ



## ◆提供物

HW	<ul style="list-style-type: none"><li>・ハードウェア仕様書</li><li>・FPGAバイナリ</li></ul>
SW	<ul style="list-style-type: none"><li>・T-Kernel環境構築手順書</li><li>・RZ/V2MA設定手順書</li><li>・RZ/A2M設定手順書</li><li>・T-KernelとR/V2MA間の通信サンプルソフト</li><li>・RZ/V2MAとRZ/A2M間の通信サンプルソフト</li><li>・T-KernelのSpaceWire通信サンプルソフト</li></ul>
付属	<ul style="list-style-type: none"><li>・ACアダプタ(100V/240V対応)</li><li>・JTAG HS3プログラミングケーブル</li></ul>

## ◆構成図



SP34EB001J

本文中に記載の会社名および製品等は各社の商標または登録商標です。  
機能向上や品質改良などのため、本資料に記載された内容は予告なく変更される場合があります。

シマフジ電機株式会社

東京都大田区西蒲田6-36-11 西蒲田NSビル3階

TEL : 03-3733-8308

E-mail : info@shimafuji.co.jp

URL : http://www.shimafuji.co.jp